

「出題の意図」

選抜区分	令和3年度（選抜区分：一般選抜前期日程） 文学部 人間関係学科（科目名：小論文）
出題の意図 (評価のポイント)	<p>1. 出題の背景・求める能力</p> <p>【出題の背景】</p> <p>今回の小論文は、サミール・オカーシャ（著）廣瀬覚（訳）『科学哲学』からの抜粋をもとに問題作成を行った。</p> <p>筆者は「科学」や「科学的」ということばが独特の威信を獲得していることを指摘しているが、実際に我々の生活における便利さや安心は科学への信頼に支えられたものともいえる。一方で、「科学的」方法に頼るだけでは解決できない課題も存在する。科学への傾倒や批判といった主題文に示される異なった考え方を踏まえたうえで、社会が抱える様々な課題から科学的方法のみでの解決が難しい事例を具体的に論考することが必要となる。</p> <p>【求める能力】</p> <p>設問は小論文1問であった。現代社会で科学が高い地位を与えられている要因の説明、および、科学的方法のみでは解決が難しい課題を具体的に挙げてその理由と対処方法について尋ねた。</p> <p>主題文で説明されている内容を読み取り、「科学」や「科学的」ということばの意味や曖昧さを明確にしたうえで、身近な問題や世界の情勢から適切な具体的事例を見つけ出し、決して合理性のみでは解決できない課題に対する自らの考えを論理的に説明することができる力を求めた。</p> <p>2. 解説(解法)</p> <p>下線部の読み取りは、科学が高い地位を与えられていることについて、文中で述べられている科学がもたらした恩恵、科学的知識の専門性など科学への肯定的見解を踏まえてまとめることが求められる。</p> <p>また、小論文全体では、科学的方法のみでの解決が難しい課題として文中の哲学的課題に限らず、いじめや差別、国際紛争など様々に考えられるが、いずれにおいても科学的方法のみで解決が難しい理由とその対処についての自身の考えが論理的にまとめられているか、詳細に論考されているかが評価のポイントとなる。</p> <p>さらに、他者に分かりやすく説得力のある文章であるか、誤字脱字はないかという点も評価の対象になる。</p>